



## ■ 登別マリンパークニクス

デンマークに実在する古城をモデルにしたニクス城を中心に、北欧の街並みが広がる水族館。アクアトンネルではエイやサメなどの魚群が遊泳する幻想的な海の世界を楽しめる。またペンギンのパレードやイルカ、アシカの楽しいショーも人気！

●場所 登別市登別東町1-22 ☎0143-83-3800

●料金 大人（中学生以上）2,400円、小学生1,200円、幼児（4歳～未就学児）600円



## ■ 登別伊達時代村

江戸時代の街並みや文化をまるごと再現した歴史テーマパーク。大迫力の忍者アクションショーや花魁とのお大尽遊び、笑いあり涙ありの人情時代劇など、お江戸の風情を満喫できるさまざまなアトラクションが用意されている。

●場所 登別市中登別町53-1 ☎0143-83-3311

●料金 大人2,900円、子ども（小学生）1,500円、幼児600円



## ■ のぼりべつクマ牧場

登別温泉街からロープウェイで上がった山頂にある施設。約100頭余りのヒグマを飼育し、子グマ牧場やツキノワ・アトラクション、クマたちの真ん中に出るスリル満点の「人のオリ」などで、クマを身近に見ることができる。世界でも珍しいクマ専門博物館も見どころだ。

●場所 登別市登別温泉町224 ☎0143-84-2225

●料金 一般（大人）2,520円、一般（小人）1,260円  
※小人は4歳以上小学生以下を対象



## ■ 登別市郷土資料館

明治・大正時代の生活用具や明治時代に入植した仙台藩片倉家主従の武家文化、そしてアイヌ文化などの資料を展示。外観デザインは片倉家の居城であった白石城。敷地内には登別市・白石市の姉妹都市提携を祝い30年前に植樹された記念樹も！

●場所 登別市片倉町6-27-2 ☎0143-88-1339

●料金 大人190円、子ども（小中学生）60円

### 交通アクセス

- ・空路 新千歳空港は、東京、大阪、名古屋、福岡などの各主要都市から、JAL、ANA、AIR DO、SKYが運航
- ・海路 仙台・名古屋（太平洋フェリー）⇄苫小牧港
- ・JR線 新千歳空港⇄登別 特急:約50分（南千歳乗り換え）
- ・バス路線 登別駅⇄登別温泉 道南バス：約15分、新千歳空港⇄登別温泉 道南バス：高速約1時間15分

☎（社）登別観光協会 <http://www.noboribetsu-spa.jp>

☎0143-84-3311 ☎0143-84-3303

登別市役所観光室

☎0143-84-2018 ☎0143-84-2519

写真提供：登別市

## 登別に行ってみよう！

登別市といえば、やはり温泉である。登別温泉は、日本を代表する温泉郷だ。質・人気ともに非常に高く、観光専門紙の調査で「日本一」に輝いたことも。JR登別市から北へ約8kmに位置する温泉街には、最大の泉源地である地獄谷が噴煙を上げ、熱湯や水蒸気がわき上がっている。地獄谷のほか、泉源はいくつもあるが、温度は45～90度といずれも高温で、1日1万tの温泉がわき出し、温泉街のホテルや旅館に給湯されている。

登別温泉の大きな特徴は、9種類もの温泉がわき出していること！これは世界的にも珍しく、登別温泉は「温泉のデパート」ともいわれている。

ゆっくりと登別の名湯につかった後は、テーマパークや自然散歩などを楽しんでみよう。家族で楽しめる施設として、登別マリンパークニクスや登別伊達時代村、のぼりべつクマ牧場などのテーマパークが人気を集めている。見る、遊ぶ、湯のまちは見どころいっぱい！

## 登別の四季

登別温泉の東に位置するクッタラ湖は、周囲約8kmの円いカルデラ湖。国内トップクラスの透明度を誇り、吸い込まれそうなほど美しく神秘的だ。澄んだ湖にはエゾサンショウウオ、ザリガニなども生息している。コバルトブルーの湖を楽しむなら手こぎボートがオススメ。透き通った湖水で泳いでいる魚に出会えるかもしれない。湖上から眺める夏の登別はまばゆいばかりだ。



北海道の冬を代表するスポーツと言えばスキーだが、登別には来馬岳の斜面に広がるサンライバスキー場がある。初心者から上級者、ボーダーも満足できる全7コース。ペアリフトは3基あり、ナイター設備もあるため土・日曜、祝日は午後5時まで滑降可能だ。山頂からは太平洋、遠く恵山岬、駒ヶ岳、日高山脈などが一望できる開放的なロケーションを誇る、穴場の存在のスキー場と言える。滑りの後は、登別温泉やカルルス温泉で冷えた身体をゆっくりと温めたい。



JR登別駅から温泉街へと続く登別温泉通りは、春になると「花のトンネル」となる。沿道約8kmに続く桜並木だ。きっかけは昭和9年に皇太子のご誕生を記念して地元の人が、道路沿いにエゾヤマザクラを植樹したことによる。その後も、サクラの数は年々増えていき、現在では2千本を優に越えている。「トンネルを抜けると、そこは湯之国」。美しいピンク色のエゾヤマザクラは、いまや登別の春に欠かすことのできない風物詩だ。



だれもが思わず足を止めてしまう紅葉スポット。それが秋の「新登別大橋」だ。橋から谷底まで120m、橋の長さは240mと北海道でも大規模で、そこからの眺めは一見の価値がある。例年10月上旬～中旬にかけて見られる紅葉時期は、谷底からの赤や黄色の葉が燃え上がるように鮮やかとなる。ツツジ・ウルシ・モミジなどの色とりどりのコントラストと、逆ロゼ形の真っ赤なアーチ橋が調和する姿は、まるで一枚の絵画を見ているようだ。



## 地獄谷

登別といえば、地獄谷  
湯煙の向こうに自然の神秘

地獄谷は、クッタラ火山の活動によってできた爆裂火口跡。直径約450m、面積約11haで、谷に沿って数多くの湧出口や噴気孔があり、泡を立てて煮えたぎる風景が「鬼の棲む地獄」の由来となるほど。ここから湧き出た多種類の温泉が各旅館・ホテルへ送られている。

